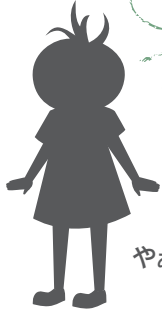


ジャン・ミノコの

The agricultural lecture  
by Jan Minoco



# にしみの 農業ドリル

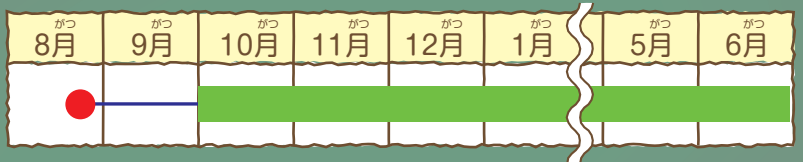


やあ、みんな元気？寒くなってきたけど、風邪なんかひいてないよね。今回は、神戸町のミニトマトについて調べてきたよ。

## ミニトマトってどんなふうにつくられているの？



収穫期間は10月から翌年6月



● 苗植え

— 生育期間

■ 収穫期間

おし  
教えてくれるのは…

下宮青果部会協議会 色彩部会 **和田 敦志** さん  
(神戸町齊田)

私のところでは、約20坪の農業用ハウスで栽培して  
いて、県内の市場やJAのファーマーズマーケットな  
どに出荷しているよ。



白いポット

ミニトマトは、8月下旬に苗を植  
えて10月上旬から収穫が始まる  
よ。樹は、直径60センチぐらいの大きな  
発砲スチロールのポットに植えられ  
ているよ。ポットの中には、ただの  
土ではなくて、培養土（作物が育ち  
やすいように、肥料などをたくさん  
含んだ土）が入っているよ。

収穫作業は座って

実ができて約1か月半で収穫



授粉後の実  
↓ 1か月半後



収穫間近の実

受粉すると写真のように  
緑色の小さい実ができるよ。  
この小さな実から収穫まで  
は約1か月半（10月中旬時  
点）かかるんだって。和田さ  
んはその間、ミニトマトが  
しっかり成長してくれるよう  
に、葉かき（実に太陽光が当  
たるように実のそばについ  
た葉をとる）や肥料やり  
などを丁寧に行っているよ。



ミニトマトは、一つの房に10個ほど  
の実をつけるよ。収穫するのに専用の  
機械はなくて、すべて手作業なんだ。  
しかも、座って収穫するためとても  
大変な作業だよ。ミニトマトの畝1列  
を往復するだけで1時間もかかるん  
だ。量は、多いときだと1日30ケース  
（1ケース=6坪）もとれるんだって。

取材の最後に和田さんから  
おいしいミニトマトの選  
び方について教えてもらっ  
たよ。ヘタが緑色でピンと  
張っていて、皮に色むら  
がなく、ハリとツヤがあるもの  
がいいんだって。みんなも  
参考にして、おいしいミニ  
トマトをいっぱい食べてね。

